

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュコロンビア大学2022春季
------------	----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	48,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	20,000 円	
現地通学費	19,000 円	(研修先まで 35 分)
教養娯楽費	円	
被服費	65,000 円	お土産も含む
雑費(お土産)	74,750 円	
その他	42,000 円	例: ウィスラーズノボ旅
その他	7,000 円	例: 日帰りシアトル旅(お土産代を除く)
合計	275,750 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にない
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: インターバンクという日本にある外貨両替店で両替してから渡航。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
私は日本でドコモを使用しているの、ドコモのサービスの一つであるドコモ海外利用サービスを使った。 費用は、7 日間で約 5,000 円プランを 4 回申し込んだので、およそ 20,000 円かかった。 Wi-Fi を借りるという選択肢もあったが、そうするとルーターを借りたり、返却や充電など手間がかかると考えたのでこのプランを使った。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ホームステイ先でどのような料理が提供されるかわからないので胃腸のトラブルに備えて、太田胃散製薬やビオフェルミンなどの整腸薬を持って行った。実際脂っこいものや、塩分過多なものが出る人が多いので、もって行ってよかったと思った。また、たった 1 か月でも日本食は恋しくなるので電子レンジで調理できるタイプのパックのごはんやお味噌汁の元を持っていったのは正解だった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項: 週末に旅行に行く予定だったが、予約したバスのドライバーが不在の為キャンセルとなってしまった。別の方法で旅行に行くことはできたが、キャンセルされたバス会社から返金がなかったので自力で問い合わせた。電話での英語は非常に苦勞し、時間を要したが何とか返金してもらうことができた。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
「地球の歩き方」や、ホームページで危険地域の情報を調べて、そこには近寄らないようにした。 また、主な防犯対策としては、普段は使わないがいざとなったら大事なもの、例えば、保険証や、パスポートのコピー、2 枚あるうちの 1 枚のクレジットカードをチェストバッグに入れて、外から見えない状態にし、万が一リュックやバッグのスリに会っても被害を最小限にできるような工夫をした。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
 滞りなく使用することができた。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類
 寮・アパート ホームステイ ホテル

2)部屋の形態
 個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
 バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
 家は二世帯住宅で僕ら学生とホストのおばあちゃんがキッチンやトイレ完備の半地下で生活し、息子夫婦とその子供たちが家の一階と二階で生活しているという形だった。その環境は普通の生活をする上では問題はなかったのだが、二世帯住宅の作りの関係で、僕ら学生が一階や二階に行くことができず、また彼らもこちらにはほとんど顔を出さないで、家庭内で英会話を上達させるという意味では不足感があり、少し不満があった。ただ、一緒に生活しているホストのおばあちゃんと一緒に食事を食べたり、カードゲームをしていくうちに英語に慣れていく節があった
 ホストファミリーが中国系の人だったので夕飯や朝ごはんを使う赤色のプレートに中国語が書いてあり the 中国って感じのお皿だった。また家の中も香辛料が何かの匂いが充満していて初めて家に入ったときは不快感があったのだが、1週間もすると慣れてきて異文化に染まっているという自信になった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先での役立つと感じたプログラムや内容
 UBC の研修内容は1週間ごとにそれぞれ学ぶテーマが設定されており、午前中はそのテーマに関する単語を学びリーディングやリスニングを行った。テーマが設定されているため自分が何を学び、それがどのように生かされるのか把握しながら英語を学べたのはとても良かった。
 午後は、テーマに関してディスカッションやプログラムを行った。具体的にいうと、毎週木曜日にプレゼンテーションがあるのだが、それに向けて少人数グループで、街中や UBC のキャンパス内でインタビューを行いそこで得られた意見や自分たちで調べて情報を基にパワーポイントや動画、ポスターを使ってプレゼンテーションを行った。もちろん班活動の時もメンバーが日本人であれ英語を用いて活動するので、英語に浸かれる環境があり、とても良かった。

2)課外プログラムについて
 現地の学生さんが主催してくれる課外プログラムがあり、彼らとはもちろん、違うクラスの学生とも仲良くなれる機会が充実していた。具体的には、ダウンタウンを案内してくれるツアーがあったり、大学が所有するアイススケートリンクでスケートやカーリングをしたり、スポーツをする機会があった。これらを通してクラス内で使う英語だけでなく、日常的に使う自然な英語を学ぶことができた。

3)滞在先・現地での生活に関すること
 バンクーバーは比較的治安が良いと言われている都市なので、日が傾いた後でもダウンタウンや住宅街を一人で行動することに問題はなかった。ただその際は周りの状況に細心の注意を払い、ホームレスや麻薬中毒者がいそうな場所にはなど危険なエリアに立ち入らないようにしようと心掛けていた。
 家庭では水や電気を大切にするように言われ、シャワーは10分以内など制約があった。
 ダウンタウンには観光するところが山ほどあり、毎日新しい発見があるので一か月いても飽きない街だった。海沿いは夕日が見えたり海を挟んだ対岸には雄大な山々や町が見えとても感動した。
 バンクーバーは移民が多いということもあり、街中には中国語や日本語も目立った。また、日本ではなかなか見かけないレバノン料理やトルコ料理、メキシカンが見受けられ、多文化を学ぶことができる街だった。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

UBC を選択した理由は二点ある。一つ目はプログラム内容。UBC は先述したようにテーマに基づいて授業を行っていくためそのテーマで使われる単語を学べたし、日本人との価値観や捉え方の違いを明確に比較できると思ったから。またディスカッションやプレゼンなど英語を話す機会が多くも置かれていると思ったから。二つ目は環境。せっかく留学に行くなら、勉強だけでなく観光やアクティビティも楽しいものにしたいなと思ったので、世界的な都市で、ウイスラーなどの自然も近いバンクーバーを選んだ。

研修先の教室は全員日本人でかなりショックを受けたが、全員英語を学びに来ているという目標を見失わないで、授業中はもちろん休み時間も英語で話そうとしていたので英語に対する抵抗感がなくなった。

ホームステイ先では自分の家と違うルールのもと他人と生活するので家の中でもリラックスできなかった。ただホストファミリーやルームメイトとの生活は様々な価値観やカナダでの生活の常識のようなものを教えてくれた。

一か月という期間は英語を上達させるにはあまりに短い、この研修をきっかけに英語の勉強に精を出していければと思う。また、研修が終了し帰国後は英語を話す機会がなくなるが、国内にいる留学生と交流してみたいと思った。

現地での生活では日本では考えられないようなアクシデントに直面し、それに英語で対処したり、異国の文化を受容するという自分を人間として成長させてくれる出来事が多くありワクワクした生活が送れると思う。

今後の人生の糧になる貴重な一か月だったと実感しているので、チャンスがあればこのプログラムにチャレンジしてほしい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュコロンビア大学2022春季
------------	----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	19,331 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7,234 円	日本でSIMカード購入
現地通学費	14,220 円	(研修先まで 45 分)
教養娯楽費	48,586 円	
被服費	912 円	
雑費	14,365 円	
その他	122,235 円	例:お土産(衣服・食品・その他雑貨)
その他	0 円	
合計	226,883 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

特別困ったことはないが、ビザ申請から受け取りまでに時間がかかるので早めに行くことをお勧めする。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 出発日成田空港内の銀行での両替

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)はどのように準備しましたか

私は、SIMカードを日本で入手してから出発した。ネットで実際に使った方のレビューから会社を絞り、必要なギガ数やプランと、価格を比較し、最も無駄がないと思われるプランを選択した。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

1週間分の衣類を準備するよう事前にすすめられていたが、実際には1週間分よりは少し多めに持って行く方が良かったと感じた。なぜなら、洗濯が1週間に1回しかできず、同じ衣類を2度使用しなければならなくなるからだ。また、2~3月のバンクーバーは非常に寒く、ヒートテックやタイツなど防寒の下着類やその他防寒具も多めに持って行くのと助かると感じた。特に、カイロは現地には売っていないので持って行ってとても良かった。

洗面用具(タオルやコップ、ドライヤーなど現地で貸してもらえそうなものも含む)は、ホストファミリーからの貸し出しはなかったので念のため持って行くべきである。

水筒も持参すべきである。ミネラルウォーターは高価なので水筒を持ち歩くことをすすめる。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ガイドブック「地球の歩き方」や youtube、インターネット上の情報から危険なエリアを把握した。コンパスカード(交通系 IC カード)は使用時のみ財布から取り出し、使用後はすぐに財布に保管した。家の鍵も財布に保管した。財布にはその他クレジットカードなどの重要なものを入れていたため、必ずかばんにしまおうかジャンパーのポケット(存在が常時確認できる場所)に入れていた。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学構内、家では WIFI が整備されていたため、インターネットの利用には困らなかった。そのため、SIM カードの利用制限ギガ数を超過する心配もなかった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私のホームステイ環境は非常に恵まれていたと感じる。ルームメイトそれぞれに個室が与えられた。クローゼットに服をしまうことができ、また学習用の机・椅子が部屋に置かれていてそこで学習することもできた。食事について、朝はパンを自分で焼いて食べ、昼はサンドイッチを用意してくれていた。夜は、手料理をふるまってくれた。夜ごはんは、ホストファミリーがアジア系であったため。中華系やベトナム系の味付けの料理がほとんどであった。食事については、手料理を用意してくださったことに感謝している。ただ、日本に比べて極端に野菜の量・種類が減るのでその点には注意した方がよい。

ホストファミリーと会話を多くすることを私は心がけた。帰宅時間の急な変更や家の中での最低限の会話はもちろんのことである。しかしそれだけではなく、他にも自分から話しかけないと、相手もパソコンやその他の作業に入りコミュニケーションの場が減ってしまう。日常的な会話を英語でかわすことでより多くのことを得られると思うので、学校であったことや、授業のテーマ、趣味、おすすめの場所、カードゲームなどなんでもよいのでぜひ積極的に話してほしい。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先での役立つと感じたプログラムや内容

各週行うプロジェクトが特にやりがいの大きいものだった。各週のテーマに沿って 3 人1組のチームでプレゼンテーションを仕上げていくものであった。テーマとは具体的に、カナダの先住民・環境問題・労働問題・人権の4つであった。この活動を選んだ理由は、プレゼンをするまでの過程で、語学力を総合的に向上させることができたからだ。現地の学生や街中でのインタビューを通じてスピーキングやリスニング力が、プレゼン作成では相手が理解しやすいアウトプットの方法を試行錯誤することでライティングやスピーキング力が鍛えられたと感じた。また、チームメイトとの意思疎通、意見交換を英語で行うため、自身の語彙やスピーキング力を認識し向上させるきっかけとなった。

CA とともに行う各週のテーマに沿ったディスカッションもとても刺激的だった。4 人ほどのグループに CA が 1 人入り、環境問題や労働、人権などのテーマからさらに深掘した質問を投げ合いディスカッションを行った。私自身、日本の制度や現状を人に説明できるほど知らなかったことを痛感した。

文法、語彙は非常に伸びた部分だと思っている。特に、語彙については、同義語と対義語と一緒に学ぶ形で授業が進んでいき、とても語彙が増えたと感じている。また、単語自体がもつ意味を先生から多く教えてもらい、そこから単語の意味を類推することが少しだけできるようになった。今後は、語彙を増やしていくうえで、今回行ったようなやり方も活かしていきたい。

2)課外プログラムについて

非常に充実していた。現地 UBC 学生により構成された CA と呼ばれる団体が多彩なプログラムを準備してくれた。中でも印象に残っているのはダウントウンツアー、ウィスラートリップ、カーリングレッスンの3つだ。これらは、個人でツアーなどに参加するよりも安い値段であること、CA と会話をし、説明などを受けながらバンクーバー、カナダのより細かい文化や観光地等を知ることができること、何よりも魅力的であった。このような屋外の活動に限らず、昼休みや放課後には CA や同じプログラム内の学生と交流できる活動も充実していた。様々な人、様々な場面で英語を使うことができるよう工夫されたプログラムであると感じた。

3)滞在先・現地での生活に関すること

交通の便が非常に良いと感じた。バンクーバー市内であればバスで 1 時間の範囲に様々な観光地やショッピングのできる場所があるため移動しやすかった。また、1時間半以内であれば異なるバスや電車を利用して一定の料金であったことが利便性を高めていると感じた。

GCE は午後の授業が 15:45 までである上に、カナダの夕飯は 19:00 前に始まることが多いため、放課後の時間はそこまで多くはなかった。ただこのような状況であったからこそ、放課後の時間を無駄に過ごした日は一度もなかったと思っている。今日は〇〇へ行

こう、今日はプロジェクトの準備をしよう、など、楽しみながらかつやるべきことをやる生活を送ることができたと感じる。この時期のバンクーバーの天気は良いものではなかった。「寒さ」と「雨・雪」は今回のバンクーバーを象徴している。ダウンは必須であるが、それだけでは寒さをしのぐことはできなかった。もし2～3月のカナダへの留学を考えているのであれば、手袋、マフラー、ニット帽、多めの温かいシャツ、タイツなどを十分に持って行く必要があると思う。日本の12月・1月のような寒さであることを忘れてはいけない。「雨・雪」についてはどうすることもできないが、とにかく晴れる日は少なく1週間に1回あればよい方である。今回の留学中には異例の大雪が降り登下校に苦労する日が続いた。このような気象的な状況も留学先の選択に活かしていただきたい。最後に、食事について、ホストファミリーが用意してくださる料理は質素である。昼はサンドイッチ、夜はメインの肉または魚とごはんという組み合わせが日常であった。食事の量については、ホストファミリーから適切な量であるか確認されるので安心してほしい。(ほかの学生もそうであった。)ただ、私の場合(カナダの食事を全体的に見ても当てはまる可能性は高い)、日本の食事と比べて野菜の摂取量が著しく少ない。具体的に、ある1日の食事の中に含まれていた野菜は、サンドイッチのレタスと夕飯のズッキーニの炒めものだけ、である。外食をしない場合、野菜は摂取できて2、3種類だったので、このような状況が心配な方はサプリメントを持参することも一つの手段である。最後に、外食について、バラエティは非常に豊富である。費用がかなり高くなるが、外食は留学期間中の1つの大きな楽しみになるはずだ。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私がこの研修先を選んだ理由は、2つだ。カナダという国自体に興味をもったこと、提供される授業がより魅力的であったこと、である。1つ目の理由について、留学前の私は、カナダに対して「平和」「友好的」「穏やか」というイメージを持っていた。その点で比較的安心して渡航できると考えた。また、留学先紹介のzoomの中で、カナダの多様性について知り、身近に触れながら学びたいと考えた。2つ目の理由について、具体的には、週当たりの授業時間が25.5時間と長く、内容は、英語の使い方や文法などの基礎的な面から、実践的な面に焦点を置いたプレゼンテーションも含まれていた。また、大学自体のレベルも非常に高く、現地学生・先生から多くのことを学びたいと考えた。以上の理由から他の留学先の授業と比べ、英語力をより鍛えられるプログラムであると考えた。

学校で過ごす時間以外は、人それぞれ時間の使い方が異なる。よって、人それぞれに唯一無二の感じること、学ぶことがある。ホームステイ先の過程での食事やルール、ホストファミリーがどの国に根ざした方でどのような文化をもっているか、が大きく影響すると実感した。このことから、私がアドバイスしたいことは、自分だけしか感じ取れないこと、学んだことを残しておく努力をしてほしいということだ。私は、毎日英語で日記を書き出来事や感じたことを書き留めたり、他の学生と文化や考え方の違いを話したりしていた。このようにアウトプットすることで、より客観的に経験や考え方を整理することができると思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	2022 年度春季 海外語学研修【ブリティッシュ・コロンビア大学】
------------	-----------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	15,000 円	友達とディナー(夜は比較的高め)、パーティーでのお菓子代
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	16,000 円	Au の世界データ定額サービス
現地通学費	13,000 円	(研修先まで 20 分) マンスリーバス購入
教養娯楽費	10,000 円	ホッケーの試合観戦、美術館ツアー
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	6,000 円	例: お土産(メープルシロップ、クッキー、キーホルダー)
その他	0 円	例:
合計	60,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

食物アレルギーがあるので、機内食についても配慮していただけるようお願いしました。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 銀行で 20,000 円ほど両替しました。

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

Au の世界データ定額サービスを使いました。個人的には電話がかけにくかったので、カナダの SIM カードに入れ替えたほうが現地での生活には向いていると感じました。現地で買うのはハードルが高いため、日本で早めに予約しておいた方が良かったです。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

シャツや下着は 1 週間分くらい多めに持って行って損はないです。限られた時間で現地をまわるためにガイドブックは 2 冊持っていました。雨、雪が多かったので傘と靴 2 足は必要でした。においが気になるので消臭するものがあれば便利です。朝が早いので目覚まし時計なども役に立ちました。パワーポイントを使ってスライドを作成する授業などもあるのでパソコンがあると便利です。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等: ホストファミリー)

特記事項: 食事の量などについてはしっかりと伝えました。ある程度ジェスチャーでも伝わるので、放っておくのではなく伝えることが大事です。

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地では貴重品は肌身離さず持って行きました。課外活動やホッケー観戦の時に荷物を預けたりしましたが、貴重品は全部自分のポケットにしまいました。キャンパスのツアーやホストファミリーから危険な場所について聞き、そこには近づかないようにしました。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

Auの世界データ定額はどこでも使えて便利でした。学校や家ではWi-Fiを使用できるので、それ以外で使いました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホストファミリーには初日にしっかりと自分の食べられないものについて伝えたほうが良いです。また、門限の時間もしっかりと確認しておき、遅れるようなら早めに連絡したほうが良いです。自分にできることは積極的に手伝い、感謝の言葉を忘れなければ、ある程度問題なく生活できます。滞在中に何度かペットが家に来る場合があったので、ペットが飼ったことがなくて苦手な人は伝えておいた方が良いでしょう。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
授業では文化、環境、仕事、人権等について学びました。英語でのディスカッションや発表では主にスピーキング能力を鍛えることができました。文法や単語についても授業を通じて学ぶことができます。また、大学では英語でコミュニケーションを取ることが推奨されていることから、現地の人はもちろん日本人とも英語で話す必要があり、リスニング力を鍛えることもできました。
2) 課外プログラムについて
私は毎週現地の大学生 4~5 人にインタビューを行い、その内容を基にした発表を行いました。初めは聞き取りにくく、耳が慣れるまで大変でしたが、次第に聞き取ることができるようになり、リスニング力を向上させることができました。英語をコミュニケーションを通して学ぶことができ、現地の人についても理解を深めることができ、英語能力の向上に役立ちました。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
滞在先ではホストファミリーとの会話はもちろん、あらゆることを英語で行う必要があります。しかし、英語を使用する機会が多いため、次第に聞き取れるようになり、自然と会話ができるようになりました。レストラン、カフェでの注文、チケット、食品の購入、先生、生徒とのコミュニケーションははじめ全くできませんでしたが、慣れれば楽しく、達成感もありました。また、日本から来た大学生が多いので、困ったことがあっても共有し、解決することができます。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>私はカナダの文化を学び、英語力を向上させたいと思い、このプログラムに参加しました。実際に現地で生活することで、カナダと日本の違いを理解することができます。ホストファミリーとの会話は大変楽しく、毎日が刺激的で予想を超える体験をすることができました。バスの乗り方、売っている食べ物の種類、お店の閉まる時間などほとんどすべてが日本とは異なるので、戸惑いもありましたが、有意義な時間を過ごすことができます。特に印象に残っているのは友達と観戦したホッケーの試合です。カナダでは最もメジャーなスポーツであるため、会場の雰囲気、盛り上がり方、会場の規模がすごく、文化の違いを体験しました。授業で英語を学び、授業以外で英語を使用することで、英語能力の向上にもつながります。日本では普段は比較的話し合うことの少ない移民や世界の環境問題について自分の意見を言う機会が多々あります。そのため、グローバルの視点で物事を捉えることができるようにもなりました。そして大学で共に英語でコミュニケーションを取って勉強した仲間は帰国してからも連絡を取ることがあります。留学は不安に思うことも多くありますが、たくさんのお出会いがあり、自分を成長させてくれます。私はこのプログラムに参加して、本当に良かったと思えました。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	カナダ、プリティッシュコロンビア大学
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 65,700 円	外食やカフェの他、食料品店で買い物も含んでいます。
図書費	0 円	授業はすべてプリントが配布されたので、教科書等を買う必要はありません。
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	19,820 円	
現地通学費	約 15,000 円	(研修先まで 約 20 分) コンパスカードを利用。 2 月→チャージ制で約 5,000 円、3 月→マンスリーで約 10,000 円
教養娯楽費	約 12,000 円	施設入場料、イベント参加費、映画チケット代など
被服費	約 15,000 円	
雑費	338 円	歯磨き粉
その他	約 25,000 円	お土産代
その他	約 5,000 円	コンパスカード以外の交通費(フェリーなど)
合計	約 158,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になかったです。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 帰国前にワールドカーレンシーで 4 万円くらい両替していきました。十分使い切れる量でした。 現地で友人と割り勘したい場合、現金が必要なのである程度は用意しておいた方が良いでしょう。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
自分が契約している docomo のサービスである「ポケットバック海外オプション」を利用しました。 契約の都合上、これを選択しましたが割高なのでコストを抑えたい人はSIMカードを利用するのが良いでしょう。実際、周りもほとんどそうでした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
現地で日本食を買うこともできますが、物価が高くなかなか手が出ないので、日本食やお菓子はある程度持って行った方が良いでしょう。また、洗濯用ネットを日本から持っていくのを忘れてしまい、洗濯をした時に服が若干縮んでしまったので、持っていった方が安心です。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 日本で言うPASMOのような存在であるコンパスカードが使えなくなるというエラーが生じました。 ホストやルームメイトに相談しました。また、たいていの情報や対処法についてはコンパスカードの web サイトに書かれています。 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
基本的には治安が良い場所でしたが、初日にホストから危険なエリア等の情報は聞いておいた方が良いでしょう。 一度、夜のダウンタウンで変な男性に絡まれたことがありました。夜のダウンタウンやチャイナタウンは危険なので、一人では出歩かないようにしましょう。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

私は携帯会社の海外料金パックを利用し、ギガ制限にも余裕があったのでネットワークで不便に感じたことは全くと言っていいほどありませんでした。大学内の Wi-Fi は問題なく使用でき、行き帰りのバス内に Wi-Fi がある場合も多かったです。しかし、スカイトレインの中ではネットワークの接続が悪く、グーグルマップが使えなくなったので注意してください。あらかじめ何駅先で自分が降りるのか把握しておく方が良いです。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私のホストはあまり留学生とコミュニケーションを取る方ではなかったので正直はじめはがっかりしましたが、割り切って学校などのコミュニティで交流しようと試みました。自分の時間が確保できるというメリットもありますが、私のホストのように留学生に全くの干渉がない家庭もあるのであまりホスト先に期待しすぎない方が良いです。(一か月ではホスト先を変えることも難しいというかほぼ無理だと思います。)

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先での役立つと感じたプログラムや内容

私のクラスは午前と午後の授業で取り組む内容がはっきり分かれていて、午後は毎週グループでのプロジェクトを行っていました。そこでは、クラスメイトはもちろんクラス外の人々にもインタビューなどを通じて話しかける機会があり刺激的でした。英語でのパネルディスカッションやプレゼンテーションは大変ですが、その分発表を終えた時にはとても達成感があります。

2)課外プログラムについて

まずは、ELLが主催しているアクティビティに参加するのが良いと思います。また、UBCの学生によって毎週金曜日に実施される Language Table というイベントに参加すれば、現地学生とも交流することができました。私は機会を逃してしまいましたが、UBCにあるサークルの活動に参加するのも現地の友人を作る一つの方法だと思います。

3)滞在先・現地での生活に関すること

UBC内には図書館や無料で入ることのできる博物館など様々な施設があるのでぜひ有効活用してみてください。ホスト先では、一度トイレの水が詰まって逆流してしまったことがありました。後からホストより聞いたことですが、これはよく起こることだそうなので、もし同じ状況になってしまっても落ち着いてすぐにホストに相談しましょう。カナダでは、思ったよりすぐに詰まってスタックしてしまうので、トイレトーパーの使い過ぎには注意してください。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私がこのプログラムに参加しようとしたのには、二つの理由があります。

一つ目は、現状の英語力がどの程度通用するのか実感するためです。私は、もともと大学の国際交流委員会に所属しており、そこで英語を使う場面もありました。また、活動の中で語学力をより向上させたいと感じることも多かったです。そのため、まずは自分の英語が海外でどのくらい通じるのか把握したいと思い、参加を決めました。

二つ目は、自分の考え方を変えるためです。日本語、英語に関わらず人前で話すことに消極的である自分を変えたいと思いました。実際、海外ではよりオープンマインドでフレンドリーな方が多かったりして、コミュニケーションを取ることの楽しさを改めて感じることができ、貴重な経験になりました。

勉強面だけでなく学べることがたくさんあって、素晴らしい友人や仲間にも出会って、かけがえのない思い出を作ることができ、このプログラムに参加してよかったと心から思います。自分の目的をしっかりと決めて過ごせば、必ず充実した時間になるはずです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学 2022 春季
------------	-------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 52000 円	Tim Hotons とマクドナルドはまだ安いのでおすすめ!
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	14700 円	au の世界データ定額サービス利用(¥490/1 日×30 日=¥14700)
現地通学費	12234 円	(研修先まで 45 分)Compass Card という現地の Suica のようなものがありそれを使用/マンスリーを買ったほうがお得かも
教養娯楽費	0 円	
被服費	53570 円	スノーブーツとパーティードレスが必要になり急遽買うことに
雑費	2892 円	生活用品(シャンプー類やホストへのプレゼントなど)
その他	67795 円	例: 旅行費(飛行機やフェリーなど旅行移動費含)
その他	18159 円	例: お土産(スタバの現地限定カップなど)
合計	221350 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になかったです。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 外貨交換で現金を 500ドル用意して行きました。 その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
au の世界データ定額サービスを利用しました。現地で Wi-Fi が繋がらないところではデータローミングを利用しました。SIM の入れ替えも必要なく、普段使用している携帯をそのまま設定を変えるだけで利用開始することができたので簡単でとても使いやすかったです。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
カードに関してデビットとクレジットカードは一枚ずつ持って行ったほうが良いです。デビットカードが使えない場所がごくわずかですがあったので持って行ったほうが安心です。どこでもカードを使えるので、現金は最低限で大丈夫だと思います。 スノーブーツ、ウォータブルジャケット(アウター)、折りたたみ傘を持って行ったほうが良いです。 2~3 月のカナダは、雪や雨のことが多いので上記のものを用意したほうが向こうでの無駄な出費を抑えられます。 スーツケースに関して、行きの時点ですでに荷物が重くて不安な人はトランク二つで行ったほうが良いです。航空会社によって規定は異なりますが、預け入れが二個まで無料であれば出国の時点で、トランク二つで行ったほうが向こうで買わなくて済みます。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省が出している海外安全劇場というユーチューブを渡航前に視聴し気をつけるべきことを確認しました。バッグは肌身離さず持つなど当たり前のことに注意を払って行動したことにより、現地で犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なかったです。

滞在形態関連	
1)留学中の滞在先の種類	
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>留学期間中ホームステイだったことでより良い留学生活になったと思います。理由は二つあります。一つは、英語を話す時間がしっかり確保できたからです。ホストファミリーが自分の会話にしっかり耳を傾けてくれたことで安心して英語を話せる環境がありました。そのおかげでしっかり英語を話せる時間を確保でき英語力向上につながったと思います。二つ目の理由は、寮生活であれば関わるができない様々な年代の、そして様々な人に出会うことができました。ホストファミリーを通じて関わる人が多岐に渡り、様々なお話を聞いたのがとても興味深く貴重な体験だったと感じました。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
<p>午後のプレゼンテーションのクラスがとても役に立ったと思います。私のクラスは毎週木曜日にプレゼンテーションの発表がありました。毎週提示される国際社会に関するトピックに基づいて発表を行うのですが、その過程で先生や他の生徒たちとのディスカッションを通じて新しい考え方やアイデアを知ることができるのが本当に楽しくて、また発表が終わり他の生徒からフィードバックをもらうことで、とてもやりがいを感じることもできました。</p>	
2)課外プログラムについて	
<p>CA と呼ばれる現地の大学生が企画してくれる活動があります。参加したダウンタウン観光プログラムに私は参加しとても楽しかったです。彼らが留学期間中たくさんアクティビティを企画してくれ、現地の大学生がオススメの場所に連れて行ってくれるため、現地の同年代の子と話せる貴重な機会でありかつローカルな場所にも行けるという魅力的なプログラムがありました。</p>	
3)滞在先・現地での生活に関すること	
<p>カナダはとても暮らしやすい環境です。人がとても優しくとても安全な場所であり、また交通機関が発達しているからこそ、行きたいところにはホストファミリーに頼らず自分で行けるためカナダでの生活を満喫できると思います。また、山に海と自然がたくさんあるため自然好きにはたまらない環境です。大学内にビーチがあり放課後サンセットをみに行くこともできますし、キツラノビーチと呼ばれる大学からバスで約 20 分の場所には海を見ながらご飯が食べられるおしゃれなレストランもあり最高の大学生活送れること間違いなしです！</p>	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私が本プログラムに応募した理由は、「海外に行きたい、せつかく行くなら行ったことのないカナダに行きたい」というのと、英語を学ぶというよりは「英語を使って何かを学びたい」という思いがあったからです。私が今回の留学プログラムに関して言えることは最高の経験だったということのみです。本プログラムに参加し、二つの成長を感じました。

一つは「自分に自信が持てるようになった」ということです。

私だけでなく、同じクラスの友達がみんな口を揃えて言うくらい、私たちはプログラムの最初と比べて自分に自信が持てるようになったと感じました。理由は午前中のクラスの先生が生徒に意見を聞いていく中で”There is no wrong answer”と毎度言ってくれ、意見を言うどんな意見でも”Awesome”や”Fantastic”と褒めてくれ、自分たちの答えに自信を持たせてくれたからです。少しずつ意見を言うことに慣れ、様々な生徒たちが自分の意見を言うようになりより sharing idea の時間が充実した時間になりました。もっとこう言いたいと言う思いが溢れ、英語を学ぶモチベーションにもつながったと思います。

二つ目は、「自分から意欲的に勉強をしたいと思えるようになった」ということです。

今までの私は、与えられた課題に対して楽しんで取り組んでいたというよりはただただ淡々とこなすような学生でした。しかし、本プログラムの、特に午後のプレゼンテーションの授業を通じて色々な新しいことを知っていく楽しさを感じることができました。例えば、最後の週のプレゼンテーションのトピックは Human Rights で、カナダには多くのホームレスがいる状況が日本との違いの一つであると感じ、興味を持っていたため”ホームレス”について一緒に調べたい学生をクラスの中から見つけプレゼンの準備を進めました。その過程で”The supportive housing”と呼ばれる支援住宅にフォーカスしたのですがたくさんの疑問が浮かび、実際に足を運んで目で見て近隣の方に意見を聞くことにしました。フィールドワークを自ら行ったことでサイトでは出てこない現地の人の本当の思いを知ることができ、最高のプレゼン発表を行うことができました。

このような自分の行動に対して勉強をしていると言う感覚は一切なく新しく何かを知ることが楽しくて、自然と好奇心から動くという最高のルーティンが出来ていたと思います。また百聞は一見に如かずということでフィールドワークを行なったことは今後何かを学ぶ際にも役に立つと強く感じました。

私は本プログラムを通じて以上の成長を感じ人生が変わったと言っても過言ではないくらい濃い時間を過ごすことができ、また一生の宝物と言える最高の仲間たちにも出会えました。この環境を用意してくれた学校や家族には感謝しかありません。

もしまた行けるチャンスがあるなら行きたいと思うくらい最高の留学生活だったので、行けるチャンスがある人には行ったほうが良いと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学 2022 春季
------------	-------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	8,000 円	
現地通学費	16,000 円	(研修先まで 20分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	20,000 円	トップス 2 着購入程度
雑費	0 円	
その他	70,000 円	例:お土産代など
その他	0 円	例:
合計	164,000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ないです
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:日本の空港での両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本で、海外のサイトから直接契約しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
味噌汁がとても助かりました。また、ブーツを1つ持って行った方がよかったです。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前にネットや本で調べたり、ホストファミリーに直接聞きました。巻き込まれたことはありませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
ネット接続が不安定な時は少しありました。

滞在形態関連
1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホストファミリーによってハウスルールや待遇が違ったりする点を踏まえておいた方が良いかと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
世界的に大きい大学だからこそ、様々な現地の学生と交流する機会があった点は良かったです。
2) 課外プログラムについて
大きい街だからこそ様々な人が住んでいて、またそういう方々に関わるプログラムがあって良かったです。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
基本的に治安などの面は懸念していたよりもずっと良かったです。特に銃社会ではない点が安心できました。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>まず、研修先を決めた1番の要因はその国の治安レベルです。次に、大学の規模と立地を考えて、私はカナダのバンクーバーにあるプリティッシュ・コロンビア大学を選びました。本研修では、「Global Citizenship」を軸に、人権への理解を深めたりカナダの文化など幅広く学びました。カナダは銃社会ではないので基本的に治安はよかったです。一方で、大麻が合法なため、その点は注意が必要でした。また、本研修は寮生活ではなく、ホームステイでホストファミリーと過ごすものでした。ホームステイと一言で言ってもその内容は十人十色で、各家庭によって様々な特徴があり、かつ私たちはどの家庭のお世話になるかを選べないので、正直当たり外れがあるといっても過言ではないと感じています。ただ、大学側からホームステイ先として認められている以上、変わった家庭は多くないと考えられますし、合わないと感じたらホームステイ先を変更することも可能でしたので、心配しすぎるのも返ってよくないとも感じます。少なくとも私はとても良い家庭に割り振られたので、1ヶ月の研修をとても楽しく終えることができました。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学
------------	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	カフェ・レストランなど(税金・チップを含む)
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	35000 円	Wifi レンタル代
現地通学費	10000 円	(研修先まで 10 分)※バス利用
教養娯楽費	40000 円	観光
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	50000 円	例:お土産代(自分用・家族用・友人用)
その他	3000 円	例:通学以外の交通費
合計	178000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
旅行代理店が代行してくださったので困ることはなかった。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:町の両替を扱っている金券ショップ その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
レンタル Wifi を借りた (無制限プラン)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
この時期のバンクーバーでは珍しいことではあるが、大雪が降ったためスノーブーツを準備しておいたのがよかった。雪は降らないにしても、雨は多いので防水の靴は必須であると考えた。また、現地ではキャッシュレスが想像以上に進んでおり、クレジットカードは必須である。現金に関して持参する場合は金額の小さい紙幣をなるべく用意したほうがいい。(小さい店では 100 ドル紙幣はほとんど使えない。)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーや現地の大学生、以前から滞在している日本人学生から情報を収集した。対策としてはなるべく単独行動をしないこと、危険な場所にはいかないこと。ただし、今回の滞在で犯罪に巻き込まれたことはなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

レンタル Wifi は接続がよく、不安定になることはなかった。唯一、充電がきれることが懸念された。また、大学やホームステイ先にも Wifi は設置されており、それらも問題なく使用することができた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

自分の家は UBC に近く非常に便利だった。一方でダウンタウン(中心部)に行くには 1 時間弱かかってしまう(しかしながら、慣れるとそこまで大変とは感じなくなる)。ホストマザーがアジア系でご飯はとてもよかった。部屋には机とクローゼットがあった。部屋によって暑すぎたり寒すぎたりするが自分で調節するのは難しいので衣類で調整できるようにするといいかもかもしれない。ホームステイでは、家族の一員として英語力を向上させるためにも会話を積極的に行い、家族のことを理解して、ルールを守って生活することが大切である。食事などで帰宅が遅くなる場合には早めに連絡するのがよい。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

このプログラムはほとんどが日本人であるが施設内ではイングリッシュオンリーのポリシーが推奨されており、授業と合わせて英語力を向上させることができる。午後の授業では週ごとのテーマに合わせてプレゼンテーションを行うがその過程において大学内や町でインタビューなどを行う。これが日本ではなかなか体験できないいい経験となるとともに英語力はもちろんそのほかの能力も向上させることができると感じた。

2) 課外プログラムについて

放課後や休日には UBC の CA(Cultural Assistant) が主催するアクティビティが豊富に用意されていた。(有料のものも有) ダウンタウンツアーやスケート、ウィスラーデイトリップなど。日本ではできないようなことを体験したりバンクーバーやカナダについて知ることができ、加えて友人を作ったり、CA と英語で話すので英語力を向上させるよい機会となるので積極的に参加することをお勧めする。一つを具体的に紹介するとウィスラーデイトリップ(有料)はバンクーバーからバスで約 2 時間のスキーリゾートである。スキーをすることはできないが、スノーアクティビティで楽しむことができる。個人で行くよりも安く行くことができ、道中も安心できる。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

平日は 16 時ごろまで授業があるのでなかなか観光はできないが、大学の敷地は日本と比べ物にならないほど大きくショップ、博物館、ビーチなど様々な施設があるので授業以外でも十分楽しむことができる。休日は積極的に出かけることをお勧めする。観光地だけでなく、街並みや商業施設など全てが日本とは違う雰囲気でも楽しむことができる。また、バスや電車などの公共交通機関は 90 分間乗り放題なのでこのことを頭に入れて行動すると交通費を節約することもできる。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

まず、この研修を選んだ理由としてはコロナ禍で最近海外に行くことができていなかったため渡航したく、どうせ渡航するなら大学生なので留学を通して自分の学びにつなげようと思ったことと世界のレベルの高い大学で学んでみたいということが挙げられる。結果的に UBC という世界的にも教育環境の整った大学で英語を学ぶことができたのはとてもいい経験となった。各週のテーマは難しいと感じることもあるが学んでいくうちに理解だし、週の終わりには今後のためになると感じることもできた。授業におけるアドバイスとしては、日本と同じではあるが積極的に質問するとよい。質問することで全体に向けた説明に加えてより詳しく説明してくれるのでとてもためになる(語彙や文法)。ホームステイに関して、各家庭にはそれぞれの事情があるので、コミュニケーションを通してこのことを理解しお互いに尊重しあって生活するとより充実したものになると感じた。休日は友人と観光やショッピングに出かけたりした。特にピクトリアはバンクーバーと違う景観で楽しかった。どこも日本とは異なる雰囲気でもとてもよい思い出となった。注意点としては休日が 6 日ほどしかないのも、遠出する場合は計画的に行動することが重要である。バンクーバーは海外でありながら日本の商品や店があることや、交通が充実していること、人々が親切であることなどから初めて留学する人にとってもお勧めできる場所であった。今回、英語の勉強からカナダの文化、社会問題に対する意識、思い出作りまですべてができるこの研修に参加して後悔は一切ない。迷っているのであればぜひ参加することをお勧めする。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学 2002 春季
------------	-------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	90,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10,000 円	SIM カード購入
現地通学費	15,000 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	10,000 円	
被服費	70,000 円	
雑費	55,000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	250,000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発日の空港で換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
出発前に国内からインターネットで申し込み
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
衣服やタオルなど持っていくすぎたためあまり心配して持ちすぎなくてよい

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
外務省のホームページなど。財布を分ける、公共交通機関で寝ないなど。バンクーバーは治安が良いので危ないと感じることは特になかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

SIM を変えていったので特に通信で困ることはなかった。日本よりも街中の Wi-Fi が充実している。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私の滞在先は 4 人家族だった。ホストファザーが日本人とのハーフで、分からない英単語など教えてくれることもあった。朝ごはんは自由、ランチはランチボックスをファザーが作ってくれ、ディナーはマザーが作ってくれた。私が土日に時間があるときなどは少し遠くの島に連れて行ってくれたり、金曜夜にホームパーティを開いたりしてくれた。朝夕の食後はホストファミリーとたくさんコミュニケーションをとった。私の滞在先は基本的に自由であり、本当に不自由なく生活することができた。人によって家の大きさや生活スタイル、自由度が違うと思うが、ハズレのような滞在先は耳にはしなかった。ホームステイで不安がある人もいるかもしれないが、とりあえず明るくたくさんコミュニケーションして、疑問点をすぐに聞けば問題なく生活ができるのでとてもおすすめ。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つか感じたプログラムや内容

このプログラムはスピーキングを重視するものだった。たまにある文法の授業はとても簡単だったが、即興で一分間グループ内で話したり、クラスの前でプレゼンテーションしたりとハードな内容もあった。また発音矯正など個人的にうれしい授業もあった。

2) 課外プログラムについて

課外プログラムでは美術館に行ったり、グランビルアイランドやダウンタウンで街の人にインタビューしたりと、とてもアクティブで面白かった。UBC の学生証はバンクーバーで最強で、高い美術館の入館料や水族館の入場料が割引や無料になるのでたくさん利用したほうがいい。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

基本的に物価が高い。放課後に毎日友達と買い物や食事、バーやクラブなどに行っていたらクレカ 1 枚では足りない。クレカが止まれば何もできないので複数枚持って行ったほうが良い。また、飲酒するときはパスポート原本が絶対に必要なので注意して毎日持ち歩いていた。夜のダウンタウンはマリファナくさいが、2 週間もいれば慣れてくる。本当にやばい雰囲気のストリートもあるからそこは絶対近づいてはいけない。全体的に治安はよくとても過ごしやすい。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修先を選んだ理由は二つあり、一つは大学のレベルが高いことかつ同時期のプログラムの中で期間が長いことである。もう一つはスピーキング重視のプログラムだったことである。前にも述べた通りスピーキングはたくさんやったものの、実際一か月で流ちょうに話せるようにはならないし発音もあまり変わらない。またクラスには日本人しかおらず、思っていたものと違う部分もあった。話せるようになりたい人は短期留学ではなく 6 か月以上の中長期留学のプログラムをお勧めする。4 週間のうち最初の 1 週間は放課後あまり出歩かなかったが、友達がたくさんできたそれ以降は毎日どこかに遊びに行ったり、ご飯に行ったりしていた。土日を使ってビクトリアに行ったり、オーロラを見たり、現地の人たちとサッカーをしたりと本当に充実した毎日を過ごしていた。自分の努力次第で外国人の友達も作ることは可能である。勉強メインというよりは、程よく勉強しつつカナダを満喫したい人にはとてもおすすめのプログラムである。最後に、個人的にすごく充実してたくさん他大の友達もできていいプログラムだったので是非おすすめしたい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学 2022 春季
------------	-------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4000 円	
現地通学費	10000 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	50000 円	
被服費	10000 円	
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	114000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本円を日本出国当日に空港でカナダドルに換金した。現金はほぼ使わなかった。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
出国一週間前くらいに SIM カードを申し込み、手続きを済ませた後カナダにつく前に飛行機の中で SIM カードを差し替えた。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
洗濯を頻繁に回すことができないので多めに下着やタオルを持っていった方がよかった。事前にホストファミリーにドライヤーやハンガーなどがあるかを確認すると、持っていく荷物が少なくなるのでいいと思った。シャンプーやボディソープなど、日本製品のものカナダに多く売っていたので荷物が多くなってしまふ場合は現地でそろえてもいいと思った。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
事前にホストマザーに気を付けた方がよいことを聞き、防犯対策として鞆を前に持つこと、持ち歩くお金は最小限にすること、ポケットなど簡単にとられてしまうような場所に財布を入れないことを意識した。また、夜遅くに一人でバスに乗っているときにお金をくれと声を掛けられ怖かったので、なるべく早く帰るべきだと感じた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

学校でネットがつながりにくかったが、SIM カードを変えて利用していたため特にインターネットについて困ることはなかったが、携帯で本人認証を行うときにもともと登録していた日本の電話番号が使えないため、本人認証が行えないことがあり、不便に感じた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホストファミリーがお年寄りで家も古かったので、潔癖症の私には少しつらく感じる部分もあったが私のホストファミリーはたくさん話をしてくれる方だったので英語を学習するという面ではとてもいい環境だったと思う。ホストファミリーとのトラブルは特になかったが、洗濯機の使い方やご飯についてのハウスルールを必ず初日にきちんと確認しておくことが大切だと感じた。ホストファミリーと会話することは英語力向上にとっても役に立つと感じたので、部屋にこもっている時間を極力短くして積極的にホストファミリーと会話することが大切だと感じた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
基本日本人しかいないクラスだったためあまり現地の人と仲良くなれる機会がなく、ネイティブの英語に触れることができなかったのが少し気がかりだったが、学校では英語しか使ってはいけないというルールがあったため、英語力は少し伸ばすことができたと思う。
2) 課外プログラムについて
現地の大学生が主催してくれている活動として、ダウンタウン観光やウィスラー観光などがあり、いろんな経験をすることができたが、日本人しかいなかったのが英語力を伸ばすという点ではあまり役には立たなかった。現地を観光するという意味では毎回のイベントがとても楽しかったのだった。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
生活面で一番困ったことは英語が通じないことだったが、それ以外は不便に感じることはなかった。英語が通じず、お店などでオーダーがうまくできなくても現地の人が優しいので、どうにかなった。チップの制度やバスの乗り降りの方法など基本的なことを事前に確認してから現地に行くことが大切だと感じた。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>留学に興味があり、カナダは治安がいいイメージがあったためこの研修を選んだ。</p> <p>このプログラムは参加者のほとんどが日本人で現地の学生とかかわる機会が少なかったため、現地の学生と関わりを持ちたい場合はより長期のプログラムに参加する方がいいと感じた。UBC の先生方はとてもやさしく、授業自体を毎日楽しむことができた。ホームステイが英語力を伸ばすことができるのでいいと感じた。私的にこの留学はとても楽しかったし、貴重な体験をすることができたので、少しでも留学に興味があって、留学がどのようなものかを体験してみたいと感じている人にはとてもおすすめのプログラムだと思った。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学 2022 春季
-----	-------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	55000 円	
図書費	0 円	授業は基本的にプリントで進められたため、教科書の購入などは必要ありませんでした。
学用品費	0 円	同上
携帯・インターネット費	5000 円	1か月25GB、45 \$+TAX のシムプランを購入しました。
現地通学費	15000 円	(研修先まで 30 分)(バス 15 分+徒歩 15 分)
教養娯楽費	8000 円	大学側主催のアクティビティ参加費など
被服費	10000 円	大学のスウェット 7000 円+現地で購入した T シャツ 3000 円
雑費	80000 円	シートル旅行費、お土産費など
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	123500 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ピザはなく、代わりに ETA の登録が必要でしたが、毎日エデュケーションさんに代行していただいたので、特に困ったことはありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の両替所でカナダドルに替えてから現地に向かいました。 その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
カナダで使うことができるシムをオンラインで事前に日本で購入しました。(YellowMobileのPhoneBoxというところで購入しました)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
現地ではほとんどの支払いをカードで行うことができたので、プリペイドカードやクレジットカードがとても便利でした。また、シムカードも道が分からなくなった時など、Wi-Fi ない場所で使うことが多かったため、用意して良かったと思います。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前のオリエンテーションなどで大学周辺地域は安全であると聞いており、実際に治安は悪くなく快適に生活することができました。ダウンタウンは大学周辺地域に比べ人の量も多く、常に気をつけながら歩いていました。大学主催のダウンタウンツアーに参加した際、夜のチャイナタウンは危険であるため、行かない方がよいと言われたのでチャイナタウンは特に気を付けていました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学には Wi-Fi があり時々接続が悪かったのですが、それ以外には問題はありませんでした。ホームステイ先でも Wi-Fi を提供していただき、問題なく使うことができました。それ以外の場所ではシムのデータ通信を使って生活していました。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
ホームステイ先の方はマレーシア出身の家庭で、5 人家族でした。今まで日本の留学生を多く受け入れていたそうで、とても親切にして頂きました。私の他に、同じ大学に通う 2 人の留学生がホームステイしており、それぞれ個室があったため自分の時間を持つことができとても快適に生活することができました。バス・トイレは留学生で共有しており、綺麗に使うことができるように心がけていました。寝る前の自由時間などは、リビングなどに積極的に顔を出し、ホストファミリーと会話するように心がけていました。日本の事や、自分が勉強していること、将来就きたい職業などを聞かれることが多かったので、答えられるようにしておくとうよいと思います。特に、教育の違いはよく理解しておくとうよいと思います。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
現地の文化や歴史の理解、英語のボキャブラリーや文法・発音などの学習内容はとても勉強になりました。また、英語でのプレゼンテーションやディスカッション、ディベートなどはとても白熱し楽しく取り組むことができました。	
2) 課外プログラムについて	
毎週金曜日の午前授業で課外活動が行われました。課外活動では、キャンパス内にいる現地の学生にインタビューや、マーケットにあるお店の店員の方にインタビュー、博物館などで歴史や文化の理解をしました。特によかったのは現地の学生や観光客にインタビューすることです。自分の英語力でも現地の人と話すことができるという体験を通して、自信を持つことができました。話したことのない人に話しかけることは勇気がいりましたが、会話が成立した達成感を感じることができとても良かったです。	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
私が参加したプログラムは午前の授業が 9:00-12:30、午後の授業が 13:30-15:45 にあり、金曜のみ午前授業だけでした。通学に時間もあまり要さなかったため、無遅刻無欠席でプログラムを終えることができました。しかしながら、大雪が降った日は多くの生徒が交通の関係で遅刻や欠席をしていました。また、体調不良の場合も我慢せずに家で療養することが大切だと思います。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

プリティッシュ・コロンビア大学を選んだ理由は二つあります。一つは英語圏にある国で英語を学びたいと思ったからです。アメリカに対して治安面の不安があったため、その隣にあるカナダで英語を学びたいと思いました。プリティッシュ・コロンビア大学周辺は治安もよく快適に生活ができると思ったため、この研修先を選びました。二つ目は、カナダが多様な文化を持つ国であるからです。カナダには移民が多く暮らしており、アジア人をはじめ様々な背景を持った人々が住んでいます。日本人も過ごしやすい環境であるとともに、異文化理解にも有効な場所であると思いました。

研修先のプログラム内容は、一週間ごとにテーマが決められており、カナダの先住民文化や環境への取り組み、ヒューマンライツなどについて学びました。毎回の授業は、簡単なアクティビティから始まり徐々に深い内容を学ぶ形式で集中して英語を学ぶことができました。講師の方はネイティブの先生でしたが、国際日本学部でもネイティブの先生から授業を受けていたため難なく授業に取り組むことができました。講師の方も、生徒が分からない単語や表現などを分かりやすく解説してくださり、易しい単語でゆっくり話してくださったので、授業についていけないということはありませんでした。

1カ月という短期の留学であったため、ホームシックを感じることはあまりありませんでしたが、友人の中にはホームシックで授業を受けることができないという人もいました。LINEなど普段使っているツールはカナダでも使うことができるので、家族や友人と連絡を取り合って不安を和らげることをお勧めします。

また、せっかくのホームステイなので、積極的にホストファミリーと話すことをお勧めします。ホストファミリーも私たちの文化や生活に興味を持ってくださるので、話すことで関係性を深めることができ、英語の勉強にもなります。ただ、ホームステイ先の中にはビジネス目的でホームステイを受け入れているという家庭もあるので、あまりにも待遇が悪く生活ができない場合は相談することが必要です。

カナダはマリファナが合法であるため、街中でよくその匂いを感じます。次第に慣れますが、最初はその匂いに驚くこともあると思います。特に夜のダウンタウンではよく吸っている人を見かけるのであまり近づかないことをお勧めします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュコロンビア大学
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	80000 円	外食含む
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	10000 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	60000 円	スキーやスポーツ観戦など
被服費	20000 円	カナダならではのブランドや UBC 内で購入。
雑費	円	
その他	7000 円	例: 交通費
その他	円	例:
合計	168000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
二重チェックをする
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 東京で12000円分換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート ※キャッシュレス社会なので現金はあまりいりませんでした。
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
e-sim がおすすめです。Phone box 社は日本語サポートあります。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
除菌シート、厚手のダウンなどの防寒グッズ、スリッパ、乾燥防止グッズ

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
インターネットで調べた。バンクーバーは思いのほか治安が良かったのでトラブルは特になし。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

UBCのWi-Fiが接続が悪く、パスワードがはじかれることが何度かあった。
E-simは7Gのプランにしたが、データ量がかつかつだったので余裕を持った購入をお勧めする。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	始めはとても緊張したが意見をしっかりと伝えること、愛想を大切にすれば大丈夫です。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	現地の文化について学ぶ授業は視野が広がった上に、カナダについて深く知ることができた。
2) 課外プログラムについて	アシスタントの方と街を探索したり、有名な山に一緒に行ったりと一人ではできない経験ができた。とてもやさしい方々で、お昼休みの時などもお話ができ、良い経験になった。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	バンクーバーは多民族国家で、アジア人含めいろいろな外見、バックグラウンドを持つ人がたくさんいる。そのため、非常に過ごしやすかった上にたくさんの文化に触れることができました。また、自然がすぐそばにある環境であるため心がリフレッシュされる。景色がきれいで非常におすすめ。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

4年の最後の期間で留学に行くことに決めたので、選んだ決め手は期間が卒業式と被らないという個人的な理由だった。しかし、いざバンクーバーで過ごしてみると、自然が生活の中に入り込み、日本にはないような険しく美しい山と海、都会的な街が共存しているとても素敵な街で、この研修を選んでよかったと感じた。バンクーバーは多民族国家で、他人を受け入れる文化やフレンドリーで礼儀正しいという印象が強かった。とても過ごしやすく、研修に参加した人皆がバンクーバーを大好きになっていた。授業自体は日本人のみのクラスということもあり、1か月で英語を本気で話せるようになれるとは思わなかったが、アシスタントのイベントに積極的に参加したり、ステイ先でのコミュニケーションを大切にすることで確実に上達はしたと思われる。留学経験のない人や、勉強だけでなく現地の文化に触れたい、現地でしかできない娯楽も楽しみたいという人にはとてもおすすめの研修だ。また、日本人の友人が中心にはなるが、大学や学年の垣根を越えて唯一無二の友人を作ることができてよかった。土日はスキーに行ったり観光地に行ったり、自然を全身で感じながら楽しんだ。また、多民族国家であるため飲食店の種類が幅広く、世界の料理を堪能できるため外食もおすすめだ。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学短期海外研修
------------	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30,000 円	外食代
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約3,000 円	Sim(Phonebox)
現地通学費	5,000 円	(研修先まで20分)
教養娯楽費	64,000 円	スキー1万5千円、シアトル旅行4万円、ホッケーの試合6千円、カーリング体験3千円
被服費	8,000 円	UBCスウェット
雑費	5,000 円	通学以外の交通費
その他	10,000 円	例:お土産(アイスワイン、メープルシロップ等)
その他	円	例:
合計	125,000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
すべて仲介会社が一括で行ってくれました。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Phone Box の格安であるイエローモバイルの sim を、あらかじめ日本で入手してから行きました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
スリッパ(カナダは靴を脱ぐ家が多いので、スリッパがあると便利。シアトル旅行の際、ホテルのアメニティでスリッパがなかったのもしホテルに泊まるなら持っていくといいと思う。)スキーウェア(スキーやスノボをしたい人は、ウェアを持参すれば出費を抑えられるのでおすすめです。)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
バンクーバーに留学したことのある人、ホストファミリー、UBCに通っている学生に話を聞いた。犯罪に巻き込まれたことはなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

7ギガ分しか購入していなかったが、ホストファミリーの家、学校、カフェ、一部のバスなどでWi-Fiが使用できたので6ギガで収まった。ただし、Wi-Fiを使用する時に機内モードにしておかないと意味がないので注意が必要。私は最初、機内モードにせずWi-Fiに接続してスマホを使用していたら、4日間で2ギガ使用してしまっていた。機内モードにしておけば、ギガが減ることはない。シアトル旅行の際は、1ギガのe-simを購入した。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
食事はその家庭によって大きく異なるので、もし合わなかった時のために日本食(ごはん、みそ汁、カップ麺等)を数日分持って行くておくと思ふ。私のホストファミリーの家の料理はスパイスをたくさん使うものが多く、ほとんど美味しかったのだが、たまに苦手なものもあった。私は、最初は少しだけよそって、食べられそうなら増やす方法をと、料理を食べ残すことがないようにしていた。ホストマザーと良好な関係を保つためには、ご飯は残さず食べたほうが良いと思ふ。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先での役立つと感じたプログラムや内容
イディオムやリアクションのフレーズを会話の中で使用してみるという授業がとても良いと感じた。ただ覚えるのではなく、会話の中でどんどん使って、経験とともに記憶することができた。これからも、ただ暗記するのではなく、「使う」ことを意識したいと思ふ。
2)課外プログラムについて
私はCA(留学生サポートチーム)の主催するダウンタウンツアーに参加しました。最初のイベントだったので、ELLに留学している学生ほぼ全員が参加していたような気がします。いろんな人と話すことができとてもよかったですし、バンクーバーの有名どころを訪れることができよかったです。
3)滞在先・現地での生活に関すること
バスがとにかく便利です。本数も多いし、時間も割と正確です。しかし、日本のバスの乗り方、下り方とはかなり違うので、事前に予習していくと良いと思ふ。また、2月、3月頃は時々雪が降りますし、雨の日も多いです。防水の靴を持っていくと快適に過ごせると思ふ。ペットボトルをいちいち買っているとかなりお金がかかるので、ボトルを持っていくと良いと思ふ。家のウォーターサーバーや、学校のいたるところに水を汲める場所があるので、そこでボトルに水をいれていました。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は4年生の卒業直前のタイミングでこの留学に行きました。その理由は、2年生の夏から1年間留学が決まっていたのですが、コロナウイルスの影響でキャンセルになってしまい、卒業までに一度は留学がしたいと思っていたからです。3年生から4年生の夏までは就職活動で忙しかったので、私にとっては今回が最後のチャンスでした。幼いころから海外で生活することを夢見ていたので、ただ学校へ行く道のりでさえもすごく楽しかったです。ただ、1か月は本当に早く過ぎるので、もっと長く滞在できるのであれば(4月から社会人にならないのであれば)もっと長く滞在することをお勧めします。国際日本学部は2年生までしか必修の英語の授業がなく、英語での授業は久しぶりだったので良いリハビリになりました。授業内容は国際日本学部の英語の授業と似ていたので、国際日本学部の2年生にとっては少し物足りなく感じるかもしれませんが、ただ、少しでも英語で話す機会を増やすことは良いことだと思うので、少しでも興味のある人は参加することをお勧めします。
--